

世上、禍福皆自己求とあり。お父ハ三代実
親より出づり、**頌**ハ列女傳の傳若出かゆと云
大善女といふハ、父の姓もや、玉ハ貞婦の名
なり。刀自ハ、老女をいふと、歌書に見へり
け人、吾伯をー地今忘る人かー棄てりー
玉見といふ村名ハ、貞良を門閭に表ーて
玉氏ハ、兄をーるの名よーて、玉川寺ハ、玉刀
自の**牌**所もや、予ハ寺の史録を志し、ととい
へ、尤も号の玉の一字を録よとりて、貞婦の
事を人よ志し、とて、女ハ貞良を執り、のこ強

て附書せむに、いあゝん或人お伴も記を危
公座安ハ、刀自の位より、記なりといふ
追考或僧曰、尚ちに紺帝紺泥の源記あり
開山ハ、法明尼とて、羽鳥伝作の尼よ、て屢靈
驗もありーと、そ本像あり、今ハ破壊をー
といふ、是玉刀自の事、記疑（り）ゝん、愚考略
し、并合を、歎き、堪へり

一 鴨川組

鴨川村、湊津村、三ヶ浜村、平本、枚村、中嶋村、
桑田村、善田、目村、返所村、吉田村、三ツ口村